

きみの地域づくり学校 校長

【座学編】【実践編 (Basic/Advanced)】を通じて、活力ある農山村を支える「関係人口 (地域課題解決に寄り添う若者・よそ者)」の創出や将来の「還流人口 (故郷への誇り・愛着を有するUターン者)」の育成を産官学地域が一体となって支援します。皆さん、壮大な社会実験と一緒に参加しませんか。



藤田 武弘 追手門学院大学教授
和歌山大学名誉教授

運営協議会 会長

「これからの地域をどのようにデザインするのか？」先駆者である地域の事業者、有識者や行政等の方々がサポーターとなり起業を目指す人達を座学とインターンシップで支援する「きみの地域づくり学校」は、4年目を迎えます。多くの方々のご参加をお待ちしています。

山上 範子

学校法人りら創造芸術学園 理事長
りら創造芸術高等学校 校長



紀美野町長

紀美野町はこれまでたくさんの移住者を迎え、独自性のある起業事例が多数生まれている町です。「きみの地域づくり学校」では紀美野町をフィールドにやりたいことや将来について真剣に学ぶことができ、多くの方との繋がりができます。移住や創業を考えられる皆さんにエールを送ります。

小川 裕康



修了生の声



中野尻 浩 (第1,2,3期生)
美容室フラットフィールド
未来 de 志賀野

3年間在籍し、学生からシニアまで多彩な仲間と学べる場。理論や実践の講義は毎回新鮮で、交流会で広がる縁も魅力です。これからは皆さんと地域づくりに力を添えていきます。



白井 宏明 (第1期生)
NPO 法人ヤマックル・
アグロフォレストリー 代表理事
紀美野町地域おこし協力隊

小生が紀美野町の自伐型林業の地域おこし協力隊になったのは2023年度。将来の地域課題解決型ビジネス起業に向けた情報収集のため、参加しました。講師陣には地域資源を活用した起業家や研究者、金融関係者が揃い、創業した現在につながる知見を得られました。



【年間】 Schedule

※座学編を修了した方のみ実践編への参加が可能
※修了者へは修了証書を授与 (修了要件をご確認ください)



募集要項

募集人数 20名程度 ※その他、学生の募集を受け付けます。

受講料 55,000円 (座学+実践)

座学編のみ受講	1コマ	5,000円
	1日 (3コマ)	12,000円

- ・紀美野町民半額
- ・家族で受講 (2人目以降) 半額
- ・学生無料

修了要件 【座学編】 6割以上の出席ならびに座学編レポートの提出

【実践編 Basic】 座学編の修了ならびに実践編レポートの提出

会場 美里の湯 かじか荘

〒640-1364 和歌山県海草郡紀美野町菅沢6

〈公共交通機関〉 JR 海南駅より送迎バスを運行予定

〈自動車〉 大阪方面：阪和自動車道路海南東ICより約45分
白浜方面：海南ICより約50分

紀美野町 総合福祉センター

〒640-1121 和歌山県海草郡紀美野町下佐々 1408-4

〈公共交通機関〉 JR 海南駅より大十オレンジバス乗車「くすのき公園西」より徒歩約15分

〈自動車〉 大阪方面：阪和自動車道路海南東ICより約20分
白浜方面：海南ICより約25分

※実践編の会場についてはインターン先の決定後、追って連絡いたします。

申込方法 右の二次元コードを読み取り、お申込みください。
※PC等から検索してお申込みも可能です。

申込期間 令和8年4月1日～5月7日

※コマ別受講は随時受付中



きみの地域づくり学校運営協議会

きみの地域づくり学校 検索

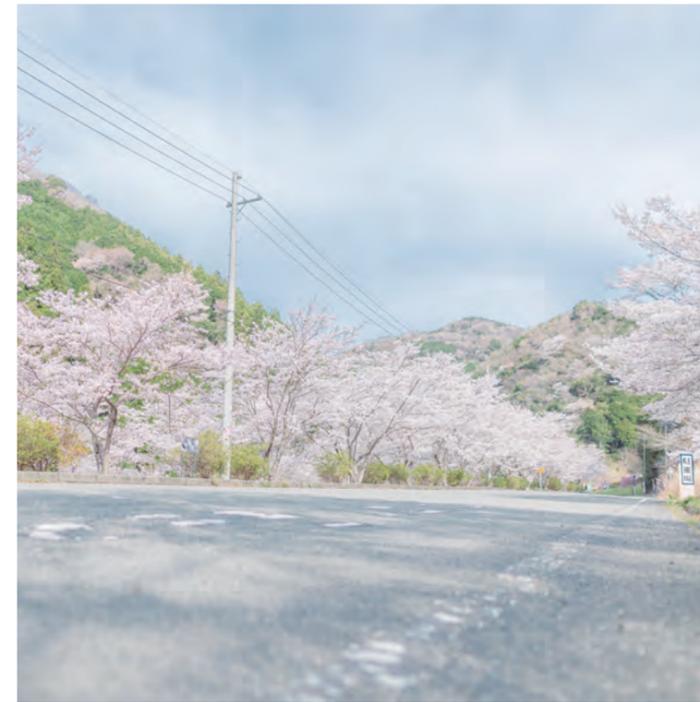
〒640-1243 和歌山県海草郡紀美野町神野市場 226-1
紀美野町役場美里支所 まちづくり課内

TEL 073-495-3462 / FAX 073-495-3334

MAIL support@kimino-cds.org

担当：山本・大林・藤井

〈主催〉きみの地域づくり学校運営協議会 〈共催〉紀美野町 和歌山大学食農総合研究教育センター 追手門学院大学地域創造学部 〈後援〉和歌山県



令和8年度

きみの地域づくり学校

Learn about business start up in rural areas



紀美野町 (和歌山県海草郡)

早くから移住定住政策を手掛け、住民主体の「地域づくり」や移住・創業支援など様々な取り組みを意欲的に行っています。また、移住者等が特色ある事業を起こすなど新たに生まれた「場」が交流拠点となり、次の移住者や関係人口の創出につながっています。



1 5/23(土)

都市農村交流と
コミュニティビジネス
12:00～12:30
開講式

都市農村交流と関係人口

藤田 武弘
追手門学院大学教授
和歌山大学名誉教授



村度(そんたく)しない「よそ者・若者」の目線こそが地域のイノベーションには不可欠です。日常のなかに埋もれた地域の価値を一緒に掘り起こしましょう!

地域づくりから
コミュニティビジネスへ

木村 則夫
(株)秋津野
代表取締役社長



地域資源を活かしながら、住民主体の持続的な地域づくりを実践している田辺市上秋津地区を紹介。秋津野が昭和30年代からいくつかの地域づくりの組織や法人を立ち上げながらコミュニティビジネスに至った経緯を学んでもらいます。

古民家宿の運営

南出 典子
風の古民家
「うえみなみ」代表



紀美野町で古民家宿を起業して10年が経ちました。田舎で起業すると言う事や、自分にあった経営の話、この10年で見てきた事や時代の流れなど、今感じている事と共にこれまでの経験や宿業の楽しさなどをお伝えしたいと考えています。

4 8/29(土)

地域づくりに
必要な人材育成

求められる「連携力重視型人材」

牧野 光朗
追手門学院大学教授
前長野県飯田市長



-きみのを学び、きみに愛着を持った若者は、高校を卒業してもきみのとの関係を持ち続け、子育て世代になる頃には、自分の子どもはきみので育てたいと考えてきみに戻り、きみを担う人材となる-目指すはこれ。

地域とともに生きる高校の
人材育成戦略

松本 将史
(株)能水商店
代表取締役



新潟県立海洋高校は、文科省委託「マイスター・ハイスクール事業」の採択を受け、地域資源に付加価値をつける方法をPBLで学ぶカリキュラムに刷新しました。学習成果を地域振興につなげる専門高校の人材育成方法を紹介します。

一人で頑張らない。
焦りを希望に変える地域づくり

片桐 翔太
KATAKOTO CRAFTS 代表
合同会社 Knots Community
代表社員



里山の衰退や地域の課題に気付くほどに焦り、「誰か」を待たず動き出しました。けれど大きな問題は、一人で抱えるほど苦しくなる。人が集い、つながり、地域を活かす。そんな地域の次世代を担う人を増やすために、あなたはどんな一歩を踏み出しますか。

2 6/20(土)

地域資源を活用した
農業の新たな展開

農業をめぐる環境変化と農山村

岸上 光克
和歌山大学教授



皆さんも実感していると思いますが、豊かな食を支える農業、その食糧供給とともに多面的機能を有する農村は危機的状況にあります。また、農業や農村を取り巻く環境も大きく変化しています。これからの農業・農村のあり方を一緒に考えましょう。

関係人口の種を蒔く、
地域農業の可能性

井上 信太郎
善兵衛農園 代表



解像度をあげてみると、地域には素晴らしい素材がたくさんあります。親元就農で代々続くみかん農業を地域に繋げる形でアップデートできるように実践しています。

次世代につながる面白いと思われ
る農業の実践

西岡 靖倫
西岡農園 代表



生産、加工、販売を1農家がすることは無理がありますが、仲間が数人いるだけで広がりが出てきます。農業は感覚で語られることが多く戸惑います。おいしい、安全安心なものづくりは決して楽ではありません。次世代に向けた新規就農者拡大、遊休農地解消、空き家対策の種まきをしたいと思っています。

5 9/26(土)

農業・農村と
関係人口

田園回帰時代の農山村再生

図司 直也
法政大学教授



農山村の地域社会が変化してきた背景を理解し、個人と地域を、また暮らしと仕事をつなぐ「なりわい」に着目して、先発的な地域づくりの取り組みを読み解きながら、田園回帰時代の農山村再生のあり方を考えます。

農業の新たな担い手と関係人口

貫田 理紗
追手門学院大学講師



農業は職業としてだけでなく、関わり方次第で誰もが担い手になれる分野です。農業の新たな担い手像や関係人口の可能性を広げ、自分らしい関わり方を一緒に考えましょう。

慌てず・焦らず・楽しんで、
の移住と起業

今別府 寛詞
うたたねびより 代表



気持ちよく無理なく生き続けるために起業を前提に移住を決意。各地のセミナーや現地訪問を経て紀美野町を選びました。周囲の人も自分たちもストレスフリーで生活するためゆくりと農家民泊開業準備を始めていきました。慌てない焦らない、移住起業です。

3 7/25(土)

食産業の新たな
可能性と起業

農・食・観光のグリーン産業化と
「食育」と「IR」

尾藤 環
(株)辻料理教育研究所
教育事業部 担当部長



現在、国際社会はグリーン社会へと大きく舵を切っています。そのようななか、農・食・観光産業はどのように変化するのか? 「食育」や「IR」は、グリーン産業化に連動していくのか? 2030年までの5年間を皆様と一緒に考えたいと思います。

“フツー”の中に眠る地域のタカラ
: わたしと地域の棚卸しから
始める未来づくり

岡 京子
(株)笑顔創造 代表取締役



“フツー”と思っていた日常に、まだ光が当たっていない“地域のタカラ”が眠っています。「地域」と「わたし」の重なりを出発点に、未来のヒントを探りましょう。

紀美野町移住・創業物語

増山 佐恵加
(株)三喜遊 LF
代表取締役



紀美野町に移住して9年。きみの地域づくり学校で生まれた「つながり」から昨年10月に法人を設立しました。特別なスキルがあったわけではない私が、どうして移住して起業したのか。自分の興味や価値観の見つけ方等もお話しできればと思っています。

[実践編]Basic

実践者をメンターとした現場でのインターンシップ 6～9回程度

飲食業

- ・くらとくり(食堂&カフェ)
- ・ベーカリーテラス ドーシェル(パン&カフェ)
- ・きこりのピザ屋 SOMAUD-ソマウド-(ピザ&カフェ)
- ・Cafe&Guest House きみの さいか亭(和カフェ)
- ・キミノーカ(ジェラート) ※内容は要相談
- ・きみのたから 焙煎体験カフェきたの



製造業

- ・アンフィ合同会社(博物模型専門製造)
- ・棕櫚簾製作舎 ※説明のみ



地域資源活用

- ・毛原オートキャンプ場
- ・KATAKOTO CRAFTS(古民家リノベーション)



農業・林業・6次産業

- ・小川地域棚田振興協議会(米)
- ・きみのフルーツ(柑橘)
- ・(株)上中林業
- ・NPO法人きみのゆうき(米・もち米・野菜等 無施肥無農薬栽培)
- ・向ファーム(緑花木生産)
- ・みさとみらいファーム(梅・ぶどう山椒)
- ・秋津野ガルテン【田辺市】
- ・農業生産法人(株)Citrus-シトラス-【有田川町】
- ・紀州柑橘 善兵衛農園【湯浅町】



宿泊業

- ・美里の湯 かじか荘
- ・たまゆらの里
- ・風の古民家「うえみなみ」
- ・Cafe&Guest House きみの さいか亭



特徴

- ・会社員や地元住民、地域おこし協力隊、行政職員、大学生、地元高校生など多世代、異業種が集う「学びの場」です。
- ・地域、行政、大学が一体となった産官学連携のプログラムです。



メンターの声



前瀬 有佑
みさとみらいファーム

2025年11月に1名のインターンシップ生を受け入れ、ぶどう山椒への肥料やり、紀州うすいえんどうの種まき、新たに南高梅を新植する畑の開墾作業などを体験していただきました。農作業を通して、中山間地域で行う農業の特徴や可能性、そして長所・短所についてお伝えしました。自然と共に仕事をする楽しさや、同時に難しさも、実際の作業を通じて実感していただけたのではないかと思います。私自身にとっても良い刺激となり、新たな可能性を生み出すきっかけとなりました。この体験が、受講者の方の今後の参考になれば嬉しく思います。



[実践編]Advanced

※過年度に座学編を修了した方対象

地域資源を活用したコミュニティビジネスの事業計画を2つの切り口(テーマ)から構想する社会実装型プログラム。町内外での調査研究やミーティング等、年間10～15回程度の活動を予定。
テーマ① テロワール型6次産業化商品開発
テーマ② 環境と調和した着地型観光商品開発